



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯿コミ

R5 CS通信No.13 R5.12.4



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 親子プロジェクト栄養教室(鯿ヶ沢中2年)



11月1日(水)、鯿ヶ沢中学校2年A組で、町の健康課題である若年層からの生活習慣病罹患を予防するための栄養教室がありました。

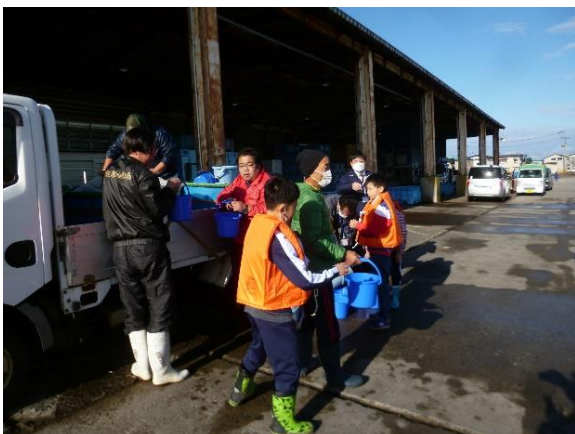
この事業は、親子プロジェクトとして、町ほけん福祉課と町食生活改善推進員会等の協力を得て、一年を通して実施している事業です。

今回の栄養教室では、ハンバーグに玉ねぎ、ごぼう、ひじき、豆腐、糸こんを入れてヘルシーでかみごたえのあるメニューにしていました。

また、おみそ汁は、煮干しと昆布でだしをとることで少ない味噌でもうす味でおいしく食べられることをポイントとしていました。

食生活改善推進員の皆さんは、野菜の切り方や作業の手順について、細かいところまで、くわしくアドバイスしていました。

## キツネメバルの稚魚放流(西海小5年)



11月22日(水)、西海小学校5年生児童がキツネメバル(マゾイ)の稚魚の放流を行いました。この学習は、ふるさと学習5本柱のうちの一つ、

町の営み(特に魚の増養殖)で、役場農林水産課と鯿ヶ沢漁協の指導で行われました。

農林水産課と漁協の職員から、鯿ヶ沢町では季節や時期によっていろいろな「魚」が漁獲されていることの説明がありました。

また、魚の資源がなくならないように「稚魚放流」も行っており、今日の学習会がそれにあたることの説明がありました。

この学習会には、地域学校協働活動推進員の工藤律子さんの呼びかけで学校支援ボランティアが3名集まり手伝いをしていました。

学校支援ボランティアの皆さんは、稚魚の入ったバケツを職員から受け取り、子どもたちに渡す仕事などを手伝っていました。

## サツマイモを使ったおやつづくり(舞戸小1年)



11月28日(火)舞戸小第1学年では、「収穫の喜びを味わうこと」「調理を楽しむこと」をねらいに、サツマイモを使ったおやつづくりをしました。

このおやつづくりには、学校支援ボランティアが5名集まり、担任の今先生の指示に従い、児童の活動支援を行いました。

支援内容は、おやつづくりに使う材料や用具を予め準備しておくことです。作業前の準備が万端のため、調理をスムーズに行うことができました。

また、実際にサツマイモを包丁で切る場面では、大きく切るために力の要するところは大人が行い、そのあと、細かく切るところは子どもにやらせるようにして安全面に配慮していました。

1年生でもやれるところはやらせるように配慮した支援で、充実した楽しい時間となりました。